

『トイレの神様』という、お手洗い掃除を通したおばあちゃんと孫の関係の歌がありますが、皆さんは掃除をするのはどうしてだと思いますか？

掃除をしなければならないことは分かっているのですが、疲れていたり面倒に感じたりしてつい、「どうせすぐに散らかるんだから」と云う言葉を言い訳にしていますが、この「どうせ だから」と云う言葉は、怠ける為<sup>なま</sup>の言葉にも聞こえています。

ではなぜ散らかしてはいけなくて、掃除を行い、身の回りの整理をしなければならないのでしょうか。

それは、命を守る為に生活環境を調えるという意味が有るのです。つまり、掃除をし、身の回りを清潔<sup>せいけつ</sup>に保つのは、病気などから身を守る為でもあるのです。

私達は、数え切れないたくさんのご先祖さまから命を受け継いで生きています。

そして、食事など周りの、他の命を頂く事によって、自らの命を保っているのです。それらの命の関係が集まって今の「あなた」がそこに生かされているのです。

たった一つの「あなた」という命が急にそこに現<sup>あらわ</sup>れて、何の命の犠牲<sup>ぎせい</sup>も無く勝手に「あなた」は一人だけで生き続けられるものではありません。受け継いだ命を、周りの命の力を少しずつ分けてもらって生きているのです。だから命は尊いのです。有り難いものなのです。「あなた」だけではありません。となりの人も地球上のすべての人も、人だけでなく、命あるもの全ての命が尊いのです。命を受け継いだ私たちは、全ての命を大切にしなければならないのです。

それには掃除など『命が生きている環境を保つ』行いも必要なのです。直接命を引き継ぐだけでなく、様々な命の生きる環境を作る事が、とても大切な事なのです。

ともすると楽な方へ怠<sup>やす</sup>ける方へと気持ちが進み易い私達ですが、与えられ続けている命を自らも環境を整える事によって守り、次の世代に繋<sup>つな</sup>げていきたいものです。

その『命が生きている環境を保つ』小さな行いの積み重ねの一つが、掃除をするという事なのです。